学校番号	413

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	生活と保育	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	教科書は使用しない						
副教材等	副教材は使用しない						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・家庭生活に目を向け、様々な問題を解決する能力、知識を身につけましょう。
・実験、実習を通して・生活に役立つ確かな技術を身に付けましょう。
・生活の中で起こる様々な課題を実験やワークショップ、演習を通して考え、理解し知識を身に付けましょう。
・保育に関わる課題について思考を深め，課題を発見し、実践的な学習活動を行ないましょう。
・周りの生徒と共同しながら主体的に学び，保育に関わる知識や技術を身につけましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】保育の意義や方法，子どもの発達と生活の特徴，子どもの福祉や文化について理解し，関連する技術を身につけ，保育や子育て支援に寄与する資質・能力を養う。人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え，衣食住など，生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定，解決策を構想・実践，考察するなど，生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え，家庭と社会との関わりについて理解を深め，生活を主体的に営むために必要な衣食住や環境などについて理解しているとともに，それらにかかわる技能を身につけている。 ・保育に関する基礎的･基本的な技術を総合的に身につけている。子どもの発達の特性，生活と保育に関する知識を総合的に身につけている。	・生涯を見通して，家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価･改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。 ・子どもの発達や保育に関わる現状について理解を深めた上で課題を見つけ，その解決をめざして思考を深め，適切に判断し，工夫し創造する能力を身につけている。	・さまざまな人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活を創造し，実践しようとしている。 ・子どもの発達や保育への関心を持ち，意欲的に学習に取り組み，子どもの健やかな発達や保育に寄与していこうとする実践的な態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	1子どもの保育	子供をはぐくむ	a：生命の尊さ，子育ての意義について理解することができる。 c：子どもをとりまく状況について，現状を知り，その課題を見つけ，解決に向けて考えようとしている。	定期考査		提出ノート
		保育の意義 1保育とは 2保育の意義	a：保育者の役割を理解し，その資質や能力を身につけるにはどのような点に気をつけていけばよいかなど，考察ができる。 c：子どもの世界について，自分の子どもの頃を思い起こしながら，興味・関心を持ち，子どもの生活について，積極的に子どもとかかわりながら，理解しようとする。生命の尊さについて，自分の現在，将来と結びつけながら，学習しようとする意欲がある。	定期考査		ワークシート
		保育の方法 1保育者の役割とは 2 一人ひとりに合わせた指導〃	a 発達時期の特性を考慮した保育の工夫が必要であることを理解している。 c：発達時期の特性を考慮し、一人一人に合わせた保育を考えることができる。	定期考査		提出ノート ワークシート
	2子どもの発達	保育の環境 1 家庭での保育 2 幼児教育・保育の場 3子どもが育つ環境の変化と課題〃	a:子どもを取り巻く環境が子どもの発達に大きな影響を与えることを理解できる。 b:発達段階における発達課題に応じて，接し方・援助の仕方・適切な保育環境整備について述べている。 c:子どもを取り巻く環境が子どもの発達に大きな影響を与えることについて，自分とどうかかわっているのか，興味・関心をもとうとしている。	定期考査	定期考査 提出レポー	提出レポート ワークシート
		子どもの発達の特性 1 発達と保育 2 発達の共通性と個別性〃	a:誕生から幼児期までの子どもの身体発育，運動機能，認知機能などそれぞれの発達の特性について理解している。 b：誕生から幼児期までの子どもの身体発育，運動機能，認知機能などそれぞれの発達の特性について考えをまとめている。	定期考査	定期考査 提出ノート	

1学期		子どものからだの発達 １発育・発達の評価 ２身体的特徴 ３生理的特徴〃 子どもの心の発達 １社会・情緒的な発達 ２知的発達 ３言葉の発達 特集　月齢，年齢別の発育・発達	ａ:子どもの心身の発達や子どもの生活についての知識を身につけている。 ｂ:子どもの心身の発達，現在の子どもを取り巻く状況や子育ての環境について，課題を見つけ，解決への考えをまとめることができる。 ｃそれぞれの月齢・年齢ごとの身体的・生理的特徴に関心を持ち，保育に関連づけて考察することができる。	定期考査	定期考査 提出ノート	提出ノート ワークシート
	３こどもの文化	子どもの文化の意義と支える場 １子どもの文化 ２子どもの文化を支える場〃	a絵本や遊び，歌などの児童文化財や児童館などの子どもの文化を支える場が，子どもの健やかな発達とどのような関わりを持つか，その意義について理解する。 c:児童文化財や文化を支える場と子どもの健やかな発達との関わりを理解し、課題を見つけることができる。	定期考査		提出レポート ワークシート
		子どもの遊びと表現活動 １遊びと発達 ２遊びと表現活動〃	a:遊びを通じて子どもが豊かに発達することについて理解している。 b:子どもの発達や特性をふまえた上で，子どもの遊具等の作成に取り組み，子どもの遊びや表現活動に関連する技術を身につけている。〃	定期考査	定期考査 提出ノート	
	４料理様式とテーブルコーディネート	料理様式と献立 １　日本料理の様式と献立 ２　西洋料理の様式と献立 ３　中国料理の様式と献立〃	a:様式別の食卓構成や食卓作法，供応に伴うマナーを身につけることができる。 ・食器・盛りつけ・テーブルクロス・照明などについて適切な取り扱いができる。 b:目的に応じたテーブルコーディネートができる。 ・食器・盛りつけ・テーブルクロス・照明などについて，目的に応じた適切な選択ができる。 C：日本料理，西洋料理，中国料理など代表的な料理様式について，それぞれの特徴に関心を持とうとしている。 ・季節や行事，食事の目的などに応じて食卓を演出しようとする意欲・関心が感じられる。	定期考査 提出レポート	定期考査	レポート 作品

2学期	5 食生活をつくる	日本の食文化の形成	a：日本の食文化について，成り立ちや特徴を理解できる。 ｂ：自分の地域の郷土料理について，歴史や料理の作り方を調べてまとめることができる。自分の地域の郷土料理と他の地域の郷土料理を比較し，違いを自分の言葉で表現できる。	定期考査	定期考査 提出ノート 実習レポート	
		私たちの食生活	ａ：食事の意義や役割，食生活をとりまく環境などについて，現代の食生活の課題が理解できる。 ｂ：自身の食生活や現在の食生活の課題を発見し，課題解決のために思考し，解決にむけての判断ができる。 ｃ：自分自身の食生活について関心をもつとともに，自分や家族の食生活について意欲的に改善・向上に努めようとする。	定期考査	定期考査 提出ノート	提出ノート ワークシート
		食事の計画と調理	ａ：栄養・食品・調理に関する基礎的な知識を生かしながら，献立を作成することができる。調理実習を通して，日常の食事づくりに必要な調理技術を身につけ，献立作成から後かたづけまでの一連の流れを計画し実践できる。 ｂ：栄養の機能と食品のかかわり，また食品の特性と調理との関係において，科学的な思考を身につけ，食品選択，栄養計算や献立作成など，実際の食事づくりにむけての判断ができる。調理実習において，作業の流れを判断しながらとりくむことができる。 ｃ：調理実習においては，積極的に参加し，とりくもうとしている。	確認テスト	提出ノート	提出ノート 提出レポート 調理実習記録
		これからの食生活を考える	ｂ：現在の日本の食生活においての課題について調査などから発見し，解決の方法について，自分の考えをまとめることができる。		確認テスト 提出ノート	

2学期	6子どもとかかわる	子どもの生活と養護 1 生活と健康 2 栄養と食事 3 衣生活	a:子どもが心身の健康を保つための保育の技術を身につける。 ・乳幼児期の栄養や食事(乳汁栄養や離乳食，幼児食など）の特徴を実習を通して理解しする。 b:子どもの衣生活と育児用品について,身体特徴をふまえ,安全で快適に生活するために何が必要か選択し､工夫することができる	確認テスト	実習レポート 提出ノート 保育作品	
		子どもの生活	ａ：子どもとの接し方，子どもの衣食住にかかわる物づくりなどの技術を身につけている。 ｃ：子どもの発達の様子や生活に興味・関心をもとうとしている。	確認テスト		提出ノート ワークシート
		子どものための社会福祉	ａ：子どもの発達段階において，子どもをとりまく人とのかかわり，地域環境・社会環境の重要性,子どもの福祉について理解できる。 ｂ：子どもの生活やとりまく環境，また，現在の子育ての環境や地域社会や国の支援策や課題などについて，情報を収集し，まとめることができる。	確認テスト	提出ノート	
3学期	7住生活をつくる	人間と住まい	a: 住まいの役割・機能について，地域の特性などをふまえて調査・研究ができる。	提出ノート		
		住まいの文化	ａ：日本独特の生活様式と，それに伴う住まいの特徴を理解している。 ｂ:現代のライフスタイルやライフステージに応じた住まいについて考えることができる。	確認テスト	確認テスト 提出ノート	
		住まいを計画する	ａ：住まいの機能・役割，またライフステージや家族構成などと住まいの関係について理解している。 ｂ：ライフステージと住空間の設計の関係,住環境について考えを深めることができる。 ｃ：住まいの機能，住空間の計画や住環境について関心をもち，快適な住まいづくり,よりよい住生活の創造にむけて意欲的にとりくもうとする。	確認テスト 平面計画書	確認テスト 提出ノート	提出ノート ワークシート 平面計画書

3学期	8 献立を考える	献立作成 １日常食の献立の作成条件 ２日常食の献立作成の手順 和風献立、洋風献立、中国風献立 ３供応食・行事食 ４項　テーマ設定と調理実習 クリスマス、正月等	a:食事のテーマに応じた献立作成,食品材料の選択と調理,テーブルコーディネートと料理のサービス方法など,一連の流れを計画し実践ができる。 b:具体的な食事テーマの設定,目的に応じた献立作成,献立に適した食品の選択,食品の調理性を踏まえた適切な調理について，理解できる。 b:食事のテーマにふさわしい食卓の整え方や周囲の環境を判断することができる。〃 c:具体的な食事テーマを設定し,その目的に応じた献立を考えることができる。 c:食事のテーマにふさわしい献立や食卓の整え方,周囲の環境づくりを行おうとする意欲・関心が感じられる。	確認テスト 提出レポート	確認テスト 提出ノート	実習レポート
	9 持続可能な衣生活	持続可能な衣生活をつくる	a:不要となった衣類について,リサイクルに回す,作りかえるなど,実生活において実践することができる。 b:現在の衣生活をとりまく状況について,自分の衣生活を振り返りながら,課題を導き出すことができる。	提出レポート 被服実習	確認テスト 提出ノート	

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度